

ビジョンや目標を実現するために！

- ①久宝寺地区福祉委員会及び関係団体と連携のもと、共同した事業を展開します。
- ②規約に従い、全ての地域住民にオープンな運営を行います。
SNSの活用などにより、スピーディで的確な情報提供に努めます。
- ③「いつまでも心豊かに住み続けたいまち 久宝寺」をめざす事業や活動を行います。
これを実現するための、新たな地域活動や取り組みを規約に則って支援します。
- ④地域に暮らす誰もが参加でき、絆を深められる場と機会の創出をめざします。
- ⑤地域住民が一体となり、お互いが思いやり支え合い、ふれあいを深めながら活動を行います。
- ⑥地域の想いを共有し、みんなが主体者となって、力を合わせて課題解決し、これを実現するまちづくりをめざします。
- ⑦規約第10条に定める「専門部会」を常設し、事業の企画、推進及び進捗フォローを行います。
- ⑧各目標の達成に向けて波及効果や相乗効果が発揮できるよう活動を展開します。
(=「掛け算」の取り組み)
- ⑨必要に応じて、行政や関係機関と協働を図りながら課題を克服していきます。
- ⑩活動にあたって、営利活動や特定の宗教活動、もしくは政治活動を目的とする事業は行いません。

この計画は、以下の考え方でまとめました！

- ◇「久宝寺小学校区まちづくり協議会」は「久宝寺地区福祉委員会」及び関係団体と連携のもと、共同して事業を展開しています。
- また、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」と「久宝寺地区福祉委員会」は、お互いの設立の主旨に沿い、それぞれ事業の実施や支援に取り組んでいます。
- その中で、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」の役割と運営の原資の用途を明確にするため本計画書にまとめました。
- ◇本計画書には、以下から得た内容や皆さまの声を集約しました。
- ①「住民アンケート(自由記述)」(令和4年7月22日～8月31日実施)
 - ② 地域懇談会「何でも言わん会まとめ」(令和4年11月 3回開催)
 - ③「専門部会 ワークショップまとめ」(令和4年10月・令和5年1月開催)
- 以上、延べ304名の皆さまから直接寄せられたご意見・ご提案・ご要望について検討・議論し、本計画書にまとめました。
- ◇本計画書に取り上げる「目標」の記述順位は、「住民アンケート(設問7)」における集計結果の回答数の多い順にしました。
- ◇本計画書では、「ビジョン」「ビジョンを実現するための目標」「ビジョン実現に向けての取り組み事業」が、皆さまに伝わるよう記述上の工夫をしました。
- 「ビジョン」を実現するにあたっての「取り組み事業例や新たな視点」などのご意見は、別枠に整理しまとめています。



久宝寺小学校区
まちづくり協議会
ホームページ

URL : kyuhoji-machikyo.net/

久宝寺地区にお住いの皆さまへ

「いつまでも心豊かに住み続けたいまち 久宝寺」をめざして、このわがまち推進計画を策定いたしました。これから5年間この計画に基づき様々な事業を行いますので、皆さまこの計画を是非ともご覧いただき、ご理解・ご協力たまりますようよろしくお願いいたします。

「久宝寺小学校区 第Ⅲ期わがまち推進計画」 まちづくり基本目標と取り組み

ビジョン

“いつまでも心豊かに住み続けたいまち 久宝寺”
をめざして！



久宝寺小学校区まちづくり協議会

(令和5年2月)

目標1 ひとりも取り残さず、守り合う安全安心なまちづくり

I. 大震災の発生を想定し、イザに備えた防災訓練と防災体制づくり

1. 災害時における安否の確認（避難行動要支援者を含む）、避難経路、避難所運営マニュアルを盛り込んだ「地区防災計画」の策定に取り組む
2. 自助による防災力向上のための啓発・学習と情報提供を行う
3. 各町会やブロックで自立的に災害対応ができる基盤を構築する
4. 地区全体や各ブロックなどの実情やニーズに沿った防災訓練を実施する

II. 誰もが安心して暮らせる、犯罪のないまちづくり

1. 安全に行き交うことのできる地域環境づくりをめざす
2. 地域をあげて、日常的な安全・安心活動を展開する
3. 地区内の日常の点検による不安全箇所・危険箇所の撲滅をめざす

〈取り組み事業例や新たな視点〉

- (I-1) ・災害弱者などひとりも取り残さないため、八尾市「災害時要配慮者支援プログラム」に基づき、地区「避難行動要支援者」支援の仕組みを作ると共に、日常の安否確認に活かす
- ・無事旗の調査研究
- (I-3) ・地区毎に防災資器材の整備と充実
- ・防災リーダーを育て、地域毎に自立的防災体制づくり
 - ・「かまどベンチ」の防災シンボルとしての活用
 - ・女性防災リーダーの育成と防災活動への女性参画
- (I-4) ・学校・地域団体・事業所と協働した防災訓練
- ・もちつき大会や校庭キャンプなど他行事と合わせたミニ防災訓練
 - ・若い世代が参加しやすい広報と仕組みづくり
- (II-1) ・自動車・自転車の運転マナー向上の啓発活動や安全講習の実施
- (II-2) ・見守り・声掛け・防犯パトロール活動の支援
- ・玄関灯の点灯協力の呼びかけ「一軒一灯運動」

目標3 未来を支える子ども達が、健やかに育つまちづくり

I. 子どもの安全を守り、すくすく育つ環境づくり

1. 地域をあげて、日常的な安全・安心活動を展開する（再掲）
2. 子どもの人権を見守ることができる地域づくり

II. 子ども達がいそいそと過ごすことのできる場と機会づくり

1. 「校庭キャンプ」など、社会学習の機会としての課外活動などを支援
2. 子ども会の活動の継続や地域の子ども居場所づくりなどを支援

〈取り組み事業例や新たな視点〉

- (I-1) ・防犯パトロール活動を支援すると共に、通学路・公園など不安全箇所や危険箇所の発見と改善に努める
- ・登下校時の見守り・声掛け運動を支援し、子どもの安全と健やかな成長を見守る
- (I-2) ・子ども達の人権を守るため、積極的に様々な啓発活動を実施
- (II-2) ・令和4年度開催の「ミニスポーツ祭」を踏まえ、時宜に合わせて企画し、子ども対象事業や行事を支援し、子ども会の加入促進を図る
- ・「子ども会」活動の良いところのPRによる活性化



目標5 みんながつながり、ささえ合いと参加のまちづくり

I. おとなりがつながり、地域がつながり、久宝寺がつながるまちづくり

1. 町会加入を促進し、助け合いささえ合うまちづくりをめざす
2. 「地域機関紙」の発行と「まちづくり協議会ホームページ」の活用による情報共有でつながるまちづくりを行う
3. 地域のニーズに則した独自行事や活動の支援

II. 住民相互が助け合い、みんなが参加のまちづくり

1. ボランティアの活躍の場づくりと担い手づくり
2. みんなの参加に向けて、活躍機会の情報発信の仕組みづくり
3. 顔と顔の見える地域でのミニ行事・活動などへの支援

〈取り組み事業例や新たな視点〉

- (I-1) ・「井戸端会議」や「口コミ」を大切にコミュニケーションの醸成
- ・行事などの主催者が自ら発信できる仕組みの整備
- (I-2) ・ホームページの充実と周知方法の検討・実施
- (I-3) ・町会活動の効率化の検討
- (II-1) ・「(仮称)地域活動サポーターズ」参画の仕組みづくり検討
(例) スポットボランティア/当日サポーターの仕組み
「こんな人いませんか」「こんなことができます」のマッチングの仕組み など
- (II-2) ・「地域機関紙」の発行と「まちづくり協議会ホームページ」の充実と活用（再掲）
- (II-3) ・もちつき大会や桜まつりなどへの支援（再掲）



目標2 いつも美しく 歴史的資源を大切にしまちづくり

I. まちかど美化推進と環境保全のまちづくり

1. 地域・団体による清掃など美化活動を推進・支援
2. 身近に花やみどりを増やすための活動を支援
3. 新設の「南久宝寺公園」などの公園や公共場所を大切に、集いの場として活かしたまちづくりを推進する
4. 「ペットの飼い主」や「喫煙者」などを対象とした、生活マナーの向上に向けた啓発活動を実施する

II. 魅力ある歴史資源を活かし、地域活性化をめざす

1. 久宝寺の魅力発掘とPRによる「久宝寺ファン」づくりを実施する
2. 寺内町などの歴史的資源を活かした行事を開催し、久宝寺地区の活性化を図る

〈取り組み事業例や新たな視点〉

- (I-1) ・防犯パトロールと合わせた取り組みを推進する
- (I-2) ・「花いっぱい運動」や「地域緑化」のきっかけづくりや支援
- ・緑化に取り組みボランティアやグループの活動の支援と情報共有の場づくり
 - ・「八尾市緑化支援事業の紹介」や「緑の講習会」「園芸教室」開催の検討
- (I-4) ・ポスター掲示やメッセージカード配布による働きかけ
- (II-1) ・校区まちづくり協議会のホームページとSNSや機関紙による久宝寺地区の歴史的遺産など久宝寺の魅力発信
- ・子ども目線での久宝寺の魅力発見「お気に入り写真コンテスト」の開催検討
- (II-2) ・「婚活イベント」の開催

目標4 子どもから高齢者まで世代を超えて、笑顔があふれるまちづくり

I. 高齢者がいきいき、元気に過ごせるまちづくり

1. グラウンドゴルフなど高齢者の健康づくり活動を支援
2. ボランティアへの参加による活躍や生きがいの場づくりを支援

II. 子どもから高齢者まで、参加の世代間交流の場づくり

1. 「乳幼児子育て支援」「青少年育成支援」など、関係団体が主催する活動と協同して実施する。
2. 世代を超えて交流が図れる場づくりを開催・支援

〈取り組み事業例や新たな視点〉

- (I-1) ・グラウンドゴルフに加え、ニュースポーツなどの軽スポーツができる環境づくり
- (I-2) ・高齢者が活躍できる場づくりの仕組みを構築し、ボランティアを募る
- ・干し柿づくり、ジャムづくりなど
- (II-1) ・高齢者または子ども対象の行事への相互参加による交流
(子ども連と高齢者の手紙交流や高齢者から子ども連への文化伝承の取り組みなど)
- ・地域活動や行事の企画段階での子ども達の参画
 - ・夏冬休みにおけるコミュニティセンターなどでの学習支援の仕組みの検討
- (II-2) ・「昔遊び」「趣味」など同好者の交流
- ・「長瀬川桜まつり」の支援
 - ・「はっとステーション」の開催
 - ・3世代交流グラウンドゴルフ大会の開催